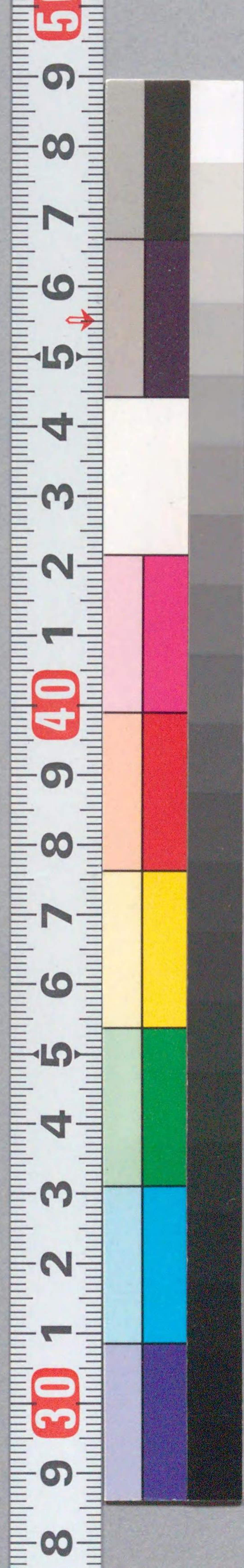
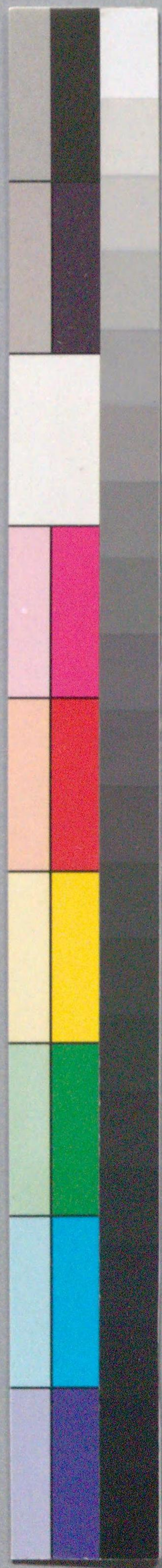


国立国会図書館 座頭宮由来 3巻 208-674



ガラス使用





国立国会図書館 座頭宮由来 3巻 208-674

ガラス使用





文化六 上之卷 己新刺

書

母のしんの神の代子素多鳥尊稻田媛と授けて八岐の  
 邪當障目等の神ありて年々の例祭おこす生る女を  
 供せざるが其氏子子業をほしあるひは五穀の専斷を  
 妨げゆるゆを疾疫と怨せざるの儀を害と遊  
 人の天年とてを屠るべし神刺の激き不度人悲懼し  
 村中のり女をみ其任にあたるものとして存戒沐浴さ  
 ぬと清淨小あきし知て神のたすおま借下し念  
 をまらる古又粗僻を免れその例ありしとあやま神  
 人の罪にしてを民と子のゆく様撫とまを我全體を  
 了んふとてかゝる花乃の檢視とかりなりや是は悪産





亞里蛇神省像



越後國座頭宮記原



































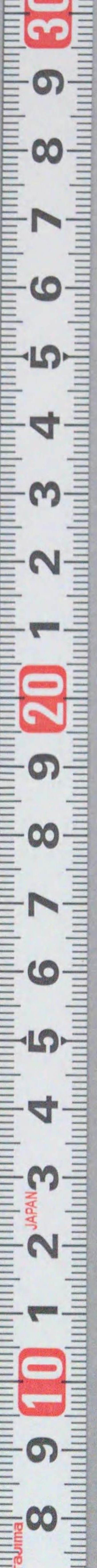




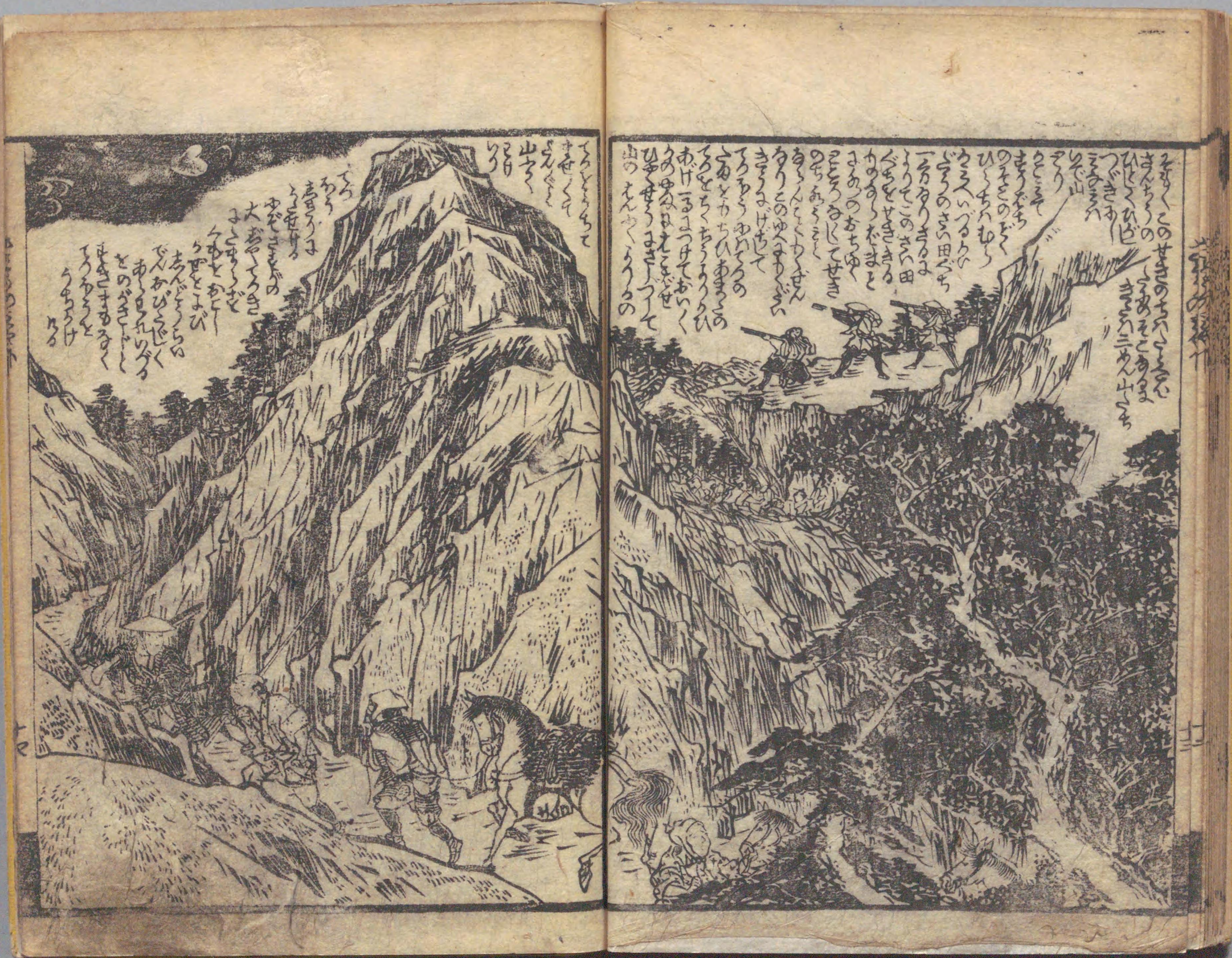












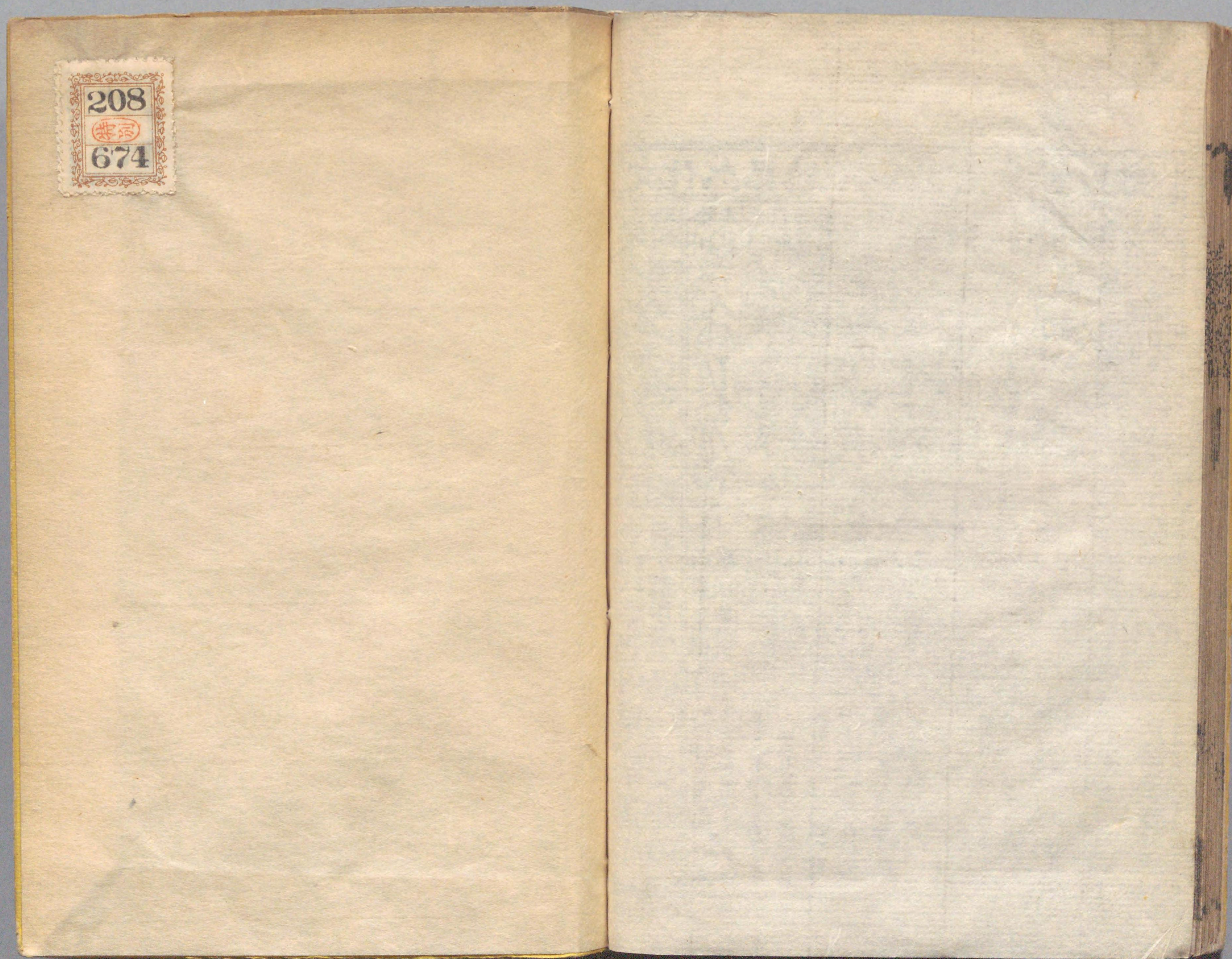
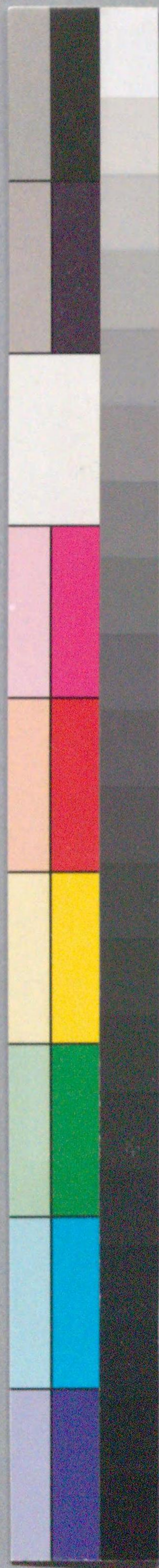










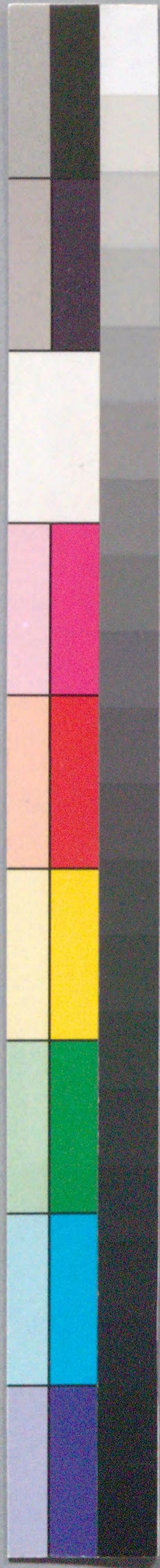


国立国会図書館 座頭宮由来 3巻 208-674

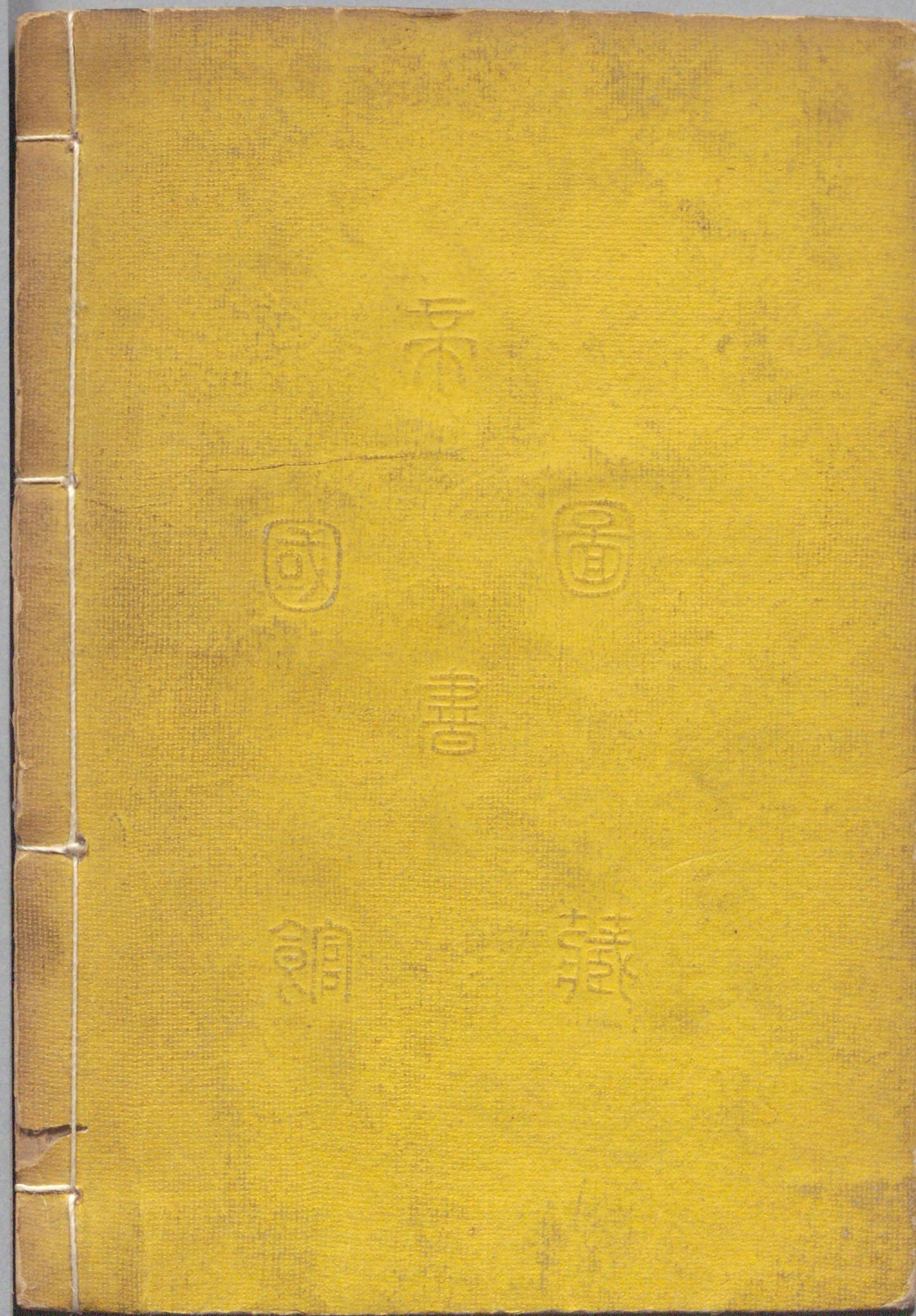
ガラス使用







国立国会図書館 座頭宮由来 3巻 208-674



ガラス使用

